

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ごーるでんえっぐ新川Ⅱ 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	2026年1月20日		～	2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～	2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月13日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ごーるでんえっぐのコンセプトである「明るく・楽しく・元気」という三原則を形にし、とにかくできた時には褒めて自信に繋がれるようにしていきました。結果として退所する児童も少なく楽しく活動に参加できています。	明るく・楽しく・元気」という三原則を大切にしながら、子どもたちが安心して活動に参加できる雰囲気づくりを心掛けています。特に、できたことや頑張った過程に目を向けて積極的に褒めることを意識し、子どもたちが成功体験を積み重ねられるよう支援しています。	安心して利用していただくことができるような環境と信頼関係を作り継続して行います。個人情報に配慮しながらSNSツールを活用し、コミュニケーションを深めていきます。 職員一人一人のコミュニケーション力を高め、話しやすい関係
2	当事業所では、スポーツ経験や競技経験のあるスタッフが在籍しています。運動の基礎や体の使い方を理解しているスタッフが、子ども一人ひとりの発達段階に合わせて、楽しみながら体を動かす療育を行います。運動を通して体力・体幹の向上集中力や自己コントロール成功体験による自己肯定感を育み、子どもたちの「できた!」を増やしていきます。	子ども一人ひとりの特性やペースに合わせて活動内容を調整し、無理なく参加できる環境を整えることで、「できた」「楽しい」と感じられる機会を増やしています。さらに、スタッフ同士で日々の様子を共有しながら関わり方を工夫し、子どもたちが自信を持って活動に取り組めるよう意識しています。	スタッフ同士で日々の関わり方や支援方法を振り返り、情報共有や意見交換を行いながら、より良い支援につなげていきます。また、子どもたちが成功体験を積み重ねながら自信を持って活動に取り組めるよう、活動内容や声掛けの工夫を行い、安心して楽しく参加できる環境づくりをさらに大切にしていきます。
3	事業所では、スタッフ全員が前向きに学び続ける姿勢を大切にしています。子どもたち一人ひとりにより良い支援を提供するために、日々の実践を振り返りながら、知識や支援方法を学び合い、積極的に取り組んでいます。	スタッフ同士で意見交換を行いながら、新しいアイデアや支援方法を取り入れ、子どもたちの成長につながる療育を常に目指しています。「より良い支援をしたい」という思いを持つスタッフが集まっていることが、当事業所の大きな強みです。	今後も「明るく・楽しく・元気」という三原則を大切にしながら、子どもたち一人ひとりの個性や発達段階に合わせた関わりをより充実させていきたいと考えています。今後も子どもたちが「また来たい」「楽しい」と感じられる事業所であり続けられるよう、スタッフ全員で学び合いながら支援の質の向上に努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども一人ひとりに寄り添った支援を大切にしている一方で、支援内容や関わり方についてより体系的に整理し、スタッフ間で共有していくことが今後の課題と感じています。	子どもたちが楽しく活動できる環境づくりに力を入れている一方、今後は活動の効果や支援方法についてより具体的に振り返りを行い、支援の質を高めていくことが課題と考えています。	外部研修や勉強会への参加、スタッフ同士の学び合いの機会を増やし、専門性の向上にも取り組んでいきます。
2	日々の活動に力を入れているため、支援の振り返りや新しい知識を学ぶ時間を十分に確保することが難しい場面もあります。	スタッフ間での情報共有や学びの機会を充実させ、より良い療育につなげていきたいと考えています。	日々の活動後の振り返りやミーティングの時間を活用し、子どもたちの様子や支援の工夫について意見交換を行いながら、より良い支援方法を検討していきます。
3			